令和６年度　校内研究

研究主題

児童の学ぶ意欲を育む授業展開の工夫

東京都北区立としま若葉小学校

〒114-0003　東京都北区豊島5−3−30
TEL 03(3912)1458　FAX 03(3912)1632
E−mail　toshiwaka-syo@city.kita.lg.jp

としま若葉小	検索

東京都北区立
としま若葉小学校

研究の構想

児童の実態

○学ぶ意欲や主体性が低下している。
○自分の考えをもち、発信できる児童が少ない。
○自分の考えを伝える表現力が十分でない。

本校の教育目標

思いやる子
考える子
がんばる子
すこやかな子

教育の今日的課題

情報化やグローバル化が一層進展する中、主体的で対話的で深い学びを通して思考力・判断力等を身に付け、自らの力で問題を解決していく力や創造性を涵養することが求められている。

研究主題

児童の学ぶ意欲を育む授業展開の工夫

めざす児童像

低学年	中学年	高学年
友達と声を掛け合ったり、応援し合ったりと仲良く運動しようとする児童	話し合い活動を通して、自分と同じ考えに共感するだけでなく異なる考えを認め、励ます中で物事を多面的・多角的に捉え、自分の考えをより深めていけるような児童	課題の解決を目指して、自己に合った適切な方法を選択して取り組む児童

研究主題設定の理由

令和５年度は「児童の学ぶ意欲を育む見方・考え方を意識した授業展開の工夫」を研究主題に据えて、低・中・高の3分科会で研究を進めた。教科・領域を指定せず、生活・社会・体育で研究授業を行った。児童の様子や各分科会の成果と課題から十分にねらいに迫る活動ができたとは言い難いが、近付くことはできたと考える。

各分科会が発達段階や学習のねらいに応じて取り組んだ、「活動の場の設定」「資料提示の工夫」「試合前後の話し合い活動」は児童の交流・思考を深める上でとても有効であったと考える。多くの児童が話し合い活動で自分の意見が言えるようになっていた。

様々な手立てを考え授業展開を工夫したが、全員参加の授業にはまだ到達できていないため、全員が意欲的に参加することができるよう、さらなる研究が必要と考えた。そこで、今年度は「児童の学ぶ意欲を育む授業展開の工夫」を研究主題に据えて、学ぶ意欲を高める授業展開の工夫を行っている。

研究主題に迫るための手立て

（１）　自分で考え、自分からすすんで取り組む工夫

（２）　自分の考えを広げたり、深めたりする工夫

授業の実践

体育科 「ボールゲーム」（第２学年）

◯単元の目標

・ボールを投げたり捕ったりして、攻めと守りのあるゲームをすることができるようにする。
・簡単な規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。
・運動にすすんで取り組み、きまりを守り仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

◯授業の視点

・声を掛け合い、友達と仲良く運動することができていたか。
・投げる方向を工夫していたか。

国語科「一つの花」（第４学年）

◯単元の目標

・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
・登場人物の気持ちや場面の移り変わりなどについて、叙述を基に捉え、具体的に想像することができる。
・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。
・粘り強く登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。

◯授業の視点

・作者が特別な意味を込めた言葉について、一人一人の考え方や感じ方の違いにも気付いているか。
・自分の考えをなかなかもてない児童は、他者の考えを手がかりに、自分の考えをもてるようになっているか。
・本時までに学習してきたことを整理しながら、題名「一つの花」の意味を読み取ることができているか。

社会科「世界に歩み出した日本」（第６学年）

◯単元の目標

・大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解する。
・地図や年表などの資料で調べ、まとめる。
・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化財などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えると共に、歴史を学ぶ意味を考え、表現する。
・主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

◯授業の視点

・課題解決の方法を、自己選択させたことは、児童の学習意欲の向上に効果があったか。
・相手を自由に選んで話し合える環境は、課題解決につながるとともに、学習意欲の向上につながったか。
・教師の声かけは適切であったか。

研究の成果と課題

〈自分で考え、自分からすすんで取り組む工夫について〉

【成果】
・学習カードの項目を工夫したことで、どの児童も学習に参加することができた。
・ルールを簡単で分かりやすくすることで、外国籍児童も楽しく学習に参加できた。
・児童の疑問から学習課題を設定したことで、単元を通して意欲的に取り組む姿が見られた。
・課題への取り組み方を児童が選択できるようにしたことで、主体的に学ぶ児童が育った。
・児童の取り組みの良い面を認めていくことが、学習意欲を高めることにつながった。

【課題】
・全員が参加できる学習環境を整えていく必要がある。

〈 自分の考えを広げたり、深めたりする工夫について 〉

【成果】
・友達と一緒に振り返りを行ったことで、自分を客観視して振り返りができた。
・一人一人の考え方や感じ方の違いに気付き、互いに認め合うことができた。
・毎時間グループ活動を取り入れ、活発に話し合うことができた。
・同一の方法で学ぶことから、共に学ぶことへの方向性が見られた。

【課題】
・自分の考えをもつ時間を確保してから話し合った方が、考えの広がりが見られる。

研究に携わった教職員（◎研究推進委員長　○研究推進委員）

研究の詳しい内容について

本校の研究の詳しい内容（研究の概要　学習指導案　各種資料等）につきましては、
本校ホームページよりご覧いただけます。

としま若葉小	検索

☝